

告示	番号	2	悪性新生物
	疾病名	悪性黒色腫	

## 悪性黒色腫

あくせいこくしょくしゅ

### 概要・定義

メラノサイト由来の悪性腫瘍である。

### 症状

黒色斑の増大や出血により気づかれることが多い。

臨床的には、非対称性、境界の不整さ（滲み出し）、色合いの多彩性（色の濃淡）、6mm以上の大きさ、が悪性黒色腫の臨床診断を下す際の判定材料になる。

### 治療

外科的切除がまず選択されるが、病期により、その切除マージンの距離が異なる。また、センチネルリンパ生検や所属リンパ節郭清も病期により選択される。

尚、悪性黒色腫は化学療法、放射線療法に極めて抵抗性で、効果を期待できる治療法は現時点で存在しない。標準薬としては、ダカルバジンが上げられるが、奏効率は低い。その他、インターフェロンの局注なども試みられている。従って、内臓転移があっても、1,2個の転移巣で、増殖速度の遅い場合には、外科的切除を検討しても良いとされる。

抜粋元：[http://www.shouman.jp/details/1\\_5\\_63.html](http://www.shouman.jp/details/1_5_63.html)